

---

## 第6回 ～未来このはな～二代目ラウンドテーブルを開催しました

---

第6回 ～未来このはな～二代目ラウンドテーブル（以下「ラウンドテーブル」と呼ぶ）が平成29年9月14日（木曜日）午後7時から此花区民ホール第1会議室にて開催されました。

このラウンドテーブルは、生活の中で「してみたいこと」をテーマに自由にアイデアや意見を出し合う場です。年齢や性別、肩書は一切関係なしに、此花をよりよくするために何か話そう。何か語ろう。という構想で行っています。

毎月第2木曜日に此花区民ホールにて開催され、今回は17名の方にお集まりいただきました。

ラウンドテーブル終了後には毎回、参加者同士の情報交換や連絡先交換が行われます。ラウンドテーブルは月1回の開催ですが、知り合ったメンバー同士が別途集まり、交流しているケースもあります。毎回参加できなくても結構ですので、ご興味がある方はぜひ一度ご参加いただきたいと思います。

次回のラウンドテーブルは10月12日（木曜日）午後7時から此花区民ホール第1会議室にて開催されますので、皆さんふるってご参加ください！

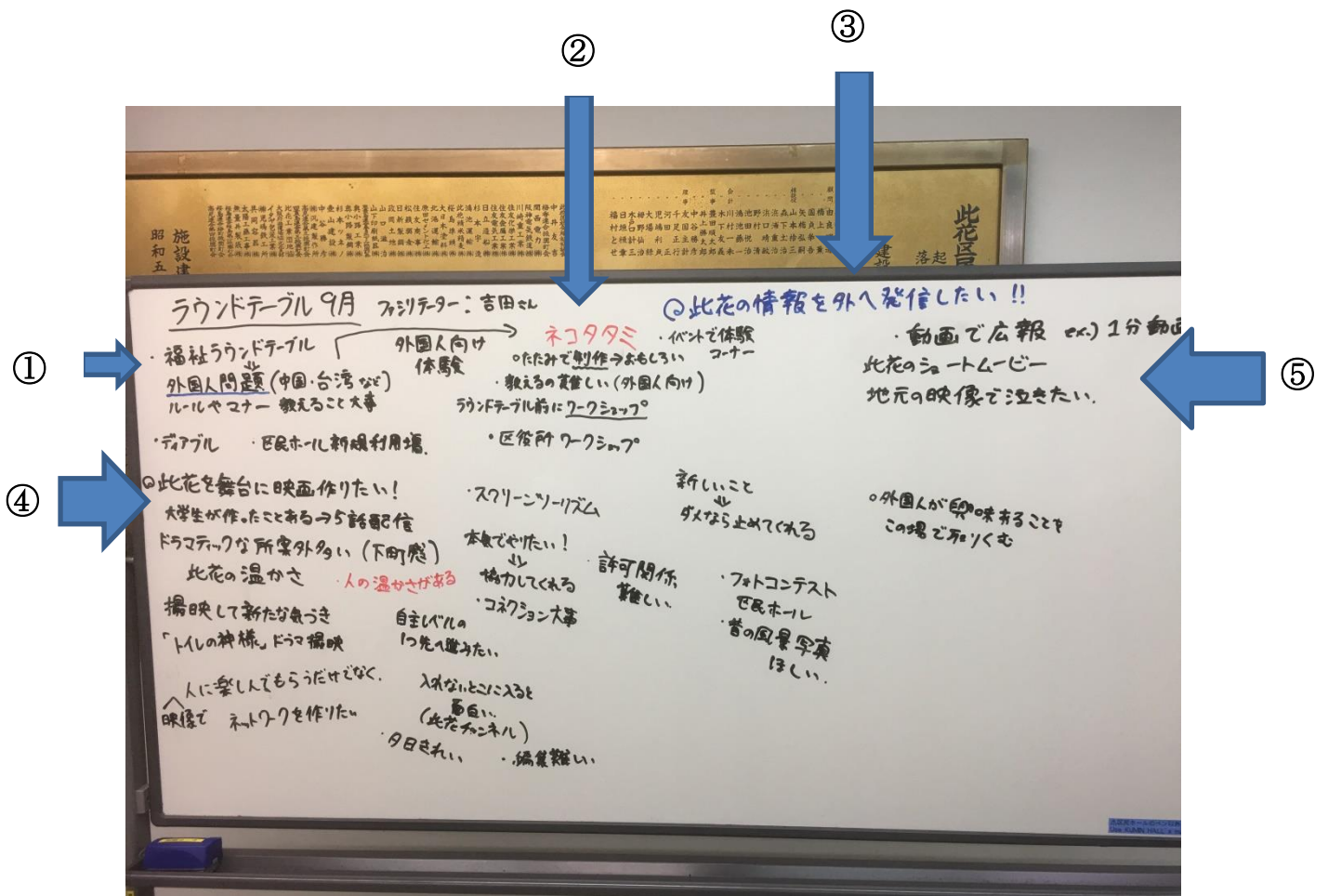
今回のラウンドテーブルについて、参加者から進行役の希望者を募ったところ、特に希望者がおられなかったため、前々回進行役のAさんの指名でBさんに進行役をお願いしました。

○まず、参加者の自己紹介を行いました。

その後、Aさんが「このはなコンテスト」の情報共有を行いました。区役所の企画総務課が西九条駅から正連寺川公園に至るまちの景観をテーマとした作品を募集するとのことです。また、「正連寺川公園フェスティバル～まいど此花～」の開催に向け、区役所で準備が進んでいるようです。此花区を盛り上げたいという想いで区役所がイベントを企画しました。詳細については「広報このはな」11月号で発表するとのことです。

詳しい情報については此花区役所企画総務課（06-6466-9512）までお問合せ下さい。

今回のラウンドテーブルの内容は次の通りです。



①・・・Cさんが「福祉ラウンドテーブル」の告知を行いました。9月27日(水)19時より梅香のほっこりの家で福祉ラウンドテーブルを開催し、造園家の安藤聡さんをゲストに迎え、福祉と園芸を絡めてまちづくりの話をされるとのことです。毎月第4水曜日に開催しているので、興味のある方はご参加ください。

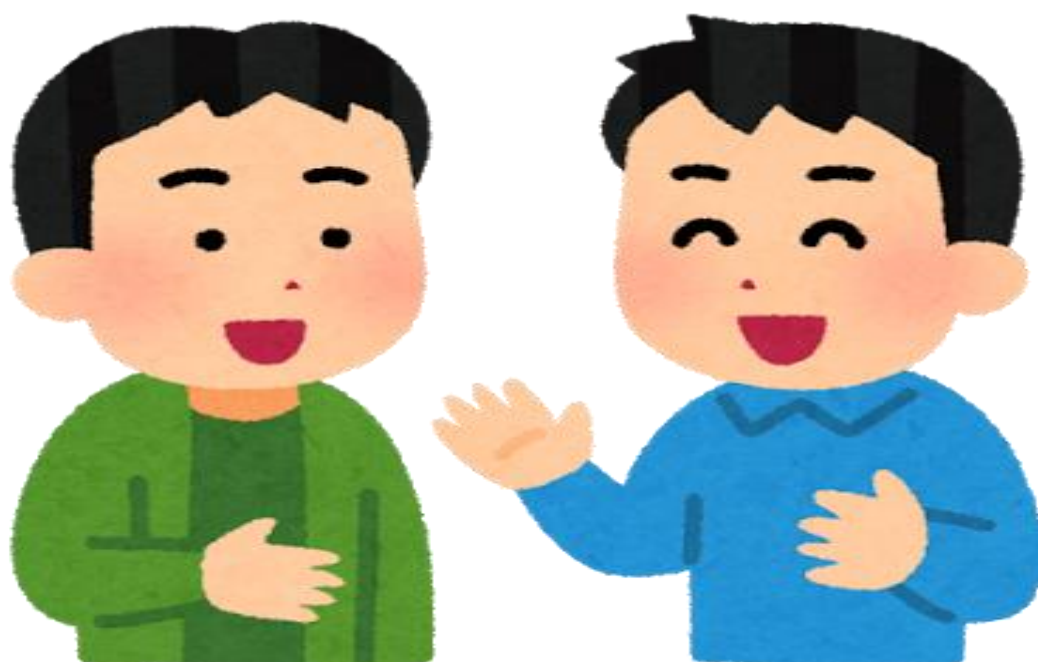
Cさんによると、以前の「福祉ラウンドテーブル」では外国人問題が議題に上がったそうで、銭湯の利用マナーや、公共の場での態度について意見交換が行われたとのことです。実際に外国の方をお招きしての意見交換も行い、相互理解を深めるよう努めていらっしゃるようです。

Dさんの務めていらっしゃるゲストハウスでは、ゲストハウスと取引のある銭湯を外国人の方に紹介する際に、合わせてマナーやルールをレクチャーするようにしているとのことです。

上記の問題は彼らがルールやマナーを知らないことが原因の一つであり、外国人の方にそれを教えてあげることが大切だとCさんは仰りました。

②・・・ラウンドテーブル開始前、此花区民ホールの第二会議室にて参加者数人がネコタタ

ミ制作を行いました。前々回のラウンドテーブルにて外国人の方が体験できるものとして、一つの事に対して地元の方と交流できる取り組みを行いたいという話になったのがきっかけです。此花に観光に来る外国人を巻き込んで、一緒に楽しめるようになりたいという想いがあり、ネコタタミ制作が一つのきっかけになることを望んでいます。実際に外国人の方に体験してもらおう前段階として、試験的にネコタタミ制作を行ったとのこと。



- ③・・・②を踏まえて進行役の B さんより提案があり、地元産業を活用してワークショップを行う、または此花の魅力を映像で発信する方法を話し合いたいということで、本日の議題を「此花区の情報を外へ発信したい!」とすることとなりました。

また、ネコタタミ制作の振りかえりを行い、制作が案外難しかったことや、畳の知識を知ることができて面白かったという意見が参加者から出ました。また、今回制作に参加できなかった方からも、家にネコを飼っているのが欲しいという意見や、家に飾るだけでもおしゃれという意見がありました。前出のように制作が難しかったこともあり、初めて作る人に教えるのも難しい、尚更言葉が通じにくい外国人の方に教えるのは難しいことから、まずは地元の方に体験していただき、その際に数名外国人の方を混ぜる方が良いのではないかとするのが B さんの主張です。E さんが日常会話程度の中国語ができることから、中国圏の方に翻訳を行いながらネコタタミ制作の体験をしてもらうという案も出ました。月 1 回のラウンドテーブルの前に何かワークショップに参加してもら

い、そのままラウンドテーブルに参加してもらうのも面白いという意見が出ました。

- ④・・・参加者の F さんより此花区を舞台に映画を作りたい！というお話をいただきました。以前、ラウンドテーブルで大学生が此花区を舞台に映像を作ったことがあり、現在映像が Youtube に 5 話配信されていることが B さんから紹介されました。F さんはウォーキング中に普段の風景を写真に撮っていく中で、此花にはドラマティックな風景がたくさんあることに最近気づき、町の人にも気づいていないような風景を撮りたいと考えるようになったそうです。写真家の G さんは此花には他の町にはない下町感があり、そこが魅力だと考えています。面白いなと思った人に教えてもらえば、自ずと面白いことにとどりに着くことができるような、此花には人の温かさがあると G さんは仰いました。F さんは大学や専門学校で映像の講師もされており、アニメーションのジオラマで賞を取った実力者です。小学校でのワークショップで講師をお願いされることもあり、活動を通じて映像の楽しさを知ってもらい、ネットワークを広げたいと考えています。自主レベルではすでに F さんは映像を作っているとのことで、自主レベルの一步先の映像を作りたいという想いがあるようです。

- ⑤・・・④の流れから、C さんはプロの方が作ったクオリティの高い此花の紹介ムービーを見てみたいと仰いました。以前の区長が町の元気がなくなってきていると感じ、一つのカメラで町を練り歩きながら区民のパフォーマンスを撮影する取り組みを行っていたと F さんと B さんより紹介がありました。F さんより Youtube に「此花チャンネル」を作り、普段入ることができないところに入って映像を撮ることができれば投稿していき、シリーズ化すると面白いのではないかという意見が出ました。舞洲の景色や淀川から見る夕日が綺麗ですが、撮影し作品として公開することに対しては管理者の許可が必要であるようです。

最後に現在此花区民ホールのロビーでフォトコンテストを行っていることを周知しました。伝法の方々が主体となって此花の一番気に入った場所を写真に撮り、ロビーに掲示しているので、あなたが一番綺麗だと思った作品に是非投票してみてください。

今月は以上です。参加して下さった皆さん、ありがとうございました。